日産自、「ノート e-POWER」に 4WD 車を追加

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区 社長:西川廣人）は 5 日、「ノート e-POWER」に 4WD(モーターアシスト方式)を追加するとともに、「ノート」の仕様を向上し、同日より全国一斉に発売すると発表しました。

ノート e-POWER MEDALIST FOUR ブラックアロー（オプション装着車）

「ノート」は、新電動パワートレイン「e-POWER」が多くのお客さまから高く評価されています。特に、100%モーター駆動ならではの力強くスムーズ

な走行性能と優れた静粛性に加え、アクセルペダルの踏み戻しだけで加速から減速までを意のままに行うことが出来る「e-POWER Drive」が好評です。

　今回、寒冷地や積雪地のお客さまにも支持されている「e-POWER」のグレードに、走行性能をさらに高めた 4WD（モーターアシスト方式）を追加設定しました。「e-POWER」とモーターアシスト方式の 4WD を組み合わせた新開発のシステムで、積雪や凍結路面などでの走りをサポートします。「e-POWER」の走行性能はそのままに、全輪モーター駆動による緻密なコントロールにより、凍結した急な登り坂や交差点での右左折時、タイヤへの抵抗が大きな深い雪道でも安定性が向上し、安心な走りを実現します。

また、4WD の追加に併せ、「ノート」の仕様を向上しました。e-POWER S を除く全グレードに、アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いによる衝突防止を支援する「踏み間違い衝突防止アシスト」を標準装備しました。また、ガソリン車でも、e-POWER と同様、前方の歩行者検知が可能な仕様に機能を向上しています。さらに、「e-POWER」の一部のグレードに採用していた、「インテリジェント クルーズコントロール」と「インテリジェント LI（車線逸脱防止支援システム）」を、ガソリン車にも拡大採用しました。

これら各種の先進安全技術の充実により、「ノート」は、経済産業省や国土交通省などが普及啓発をしている、安全運転サポート車、「セーフティ・サポートカーS（サポカーS）」のワイドに対応しています。（＊1）

さらに、ボディカラーに太陽の輝きを感じさせるサンライトイエローを新色として追加し、若々しくアクティブなイメージを表現しました。また、よりスポーティさを強調したスタイリッシュなブラックアローには、同サンライトイエローのボディにスーパーブラックのルーフの 2 トーンカラー（＊2）を新たに設定し、全 22 色の幅広いカラーバリエーションからお選びいただくことを可能としました。

なお、今回の仕様向上に併せ、特別仕様車「ノート シーギア」についても「e-POWER」グレードに 4WD（モーターアシスト方式）を追加設定し、お客さまの選択肢の幅を広げた他、「踏み間違い衝突防止アシスト」を標準装備し

ました。また、「ノート NISMO」においても、「NISMO」、「e-POWER NISMO」グレードに「踏み間違い衝突防止アシスト」を標準装備し、先進安全装備の充実を図りました。

日産は、世界中のお客さまに向けた安全かつ持続可能な社会の実現を目指すことを目的とした「ニッサン インテリジェント モビリティ」の取り組みのもと、クルマの「電動化」、「知能化」に向けた技術開発を進めています。地球温暖化やエネルギー問題、交通事故や渋滞など、クルマが関与する社会課題の解決を目指すとともに、クルマと人々の体験をよりワクワクするものへと進化させていきたいと考えています。